

平成29年度  
岩手県中学校新入生学習状況調査  
結果報告

[文書のサブタイトル]

平成29年7月

岩手県教育委員会



# 平成29年度岩手県中学校新入生学習状況調査結果報告

## 目次

I	調査結果の概要	・・・・・・・・	2
	1	調査についての基本的な考え方	
	2	調査のねらい・内容等	
	3	教科調査結果の概要	
	4	生徒質問紙調査結果の概要	
II	各教科の調査結果の概要とその分析		
	○ 国語 <授業改善の手引>	・・・・・・・・	4
	○ 数学 <授業改善の手引>	・・・・・・・・	9
III	生徒質問紙調査の結果	・・・・・・・・	15

# I 調査結果の概要

## 1 調査についての基本的な考え方

学習状況調査は、生徒の実態や指導の状況を検証し分析するツールの一つであり、県教育委員会のもとより、各市町村教育委員会、各小・中・義務教育学校においても調査結果を分析し、定着の状況や指導の状況を検証し、指導の充実や授業の改善に向けて活用していくためのものである。

## 2 調査のねらい・内容等

- 各中学校・義務教育学校後期課程において新入生一人一人の学習の定着状況を把握し、その結果を基に指導の充実を図ること。また、各小学校・義務教育学校前期課程では、出身小学校別の分析資料等から小学校・義務教育学校前期課程での学び全般の実態を捉え、今後の指導に生かすこと。さらに、各地域の小中連携会議等における指導改善に向けた協議等で活用する資料とし、小中の系統性を意識した指導の充実を図り、児童生徒の学力保障に資すること。
- 全県的な規模で小学校・義務教育学校前期課程修了段階における学習の定着状況を把握するとともに、明らかになった学習指導上の課題を教育施策に反映させることにより、本県児童生徒の学力向上に資すること。

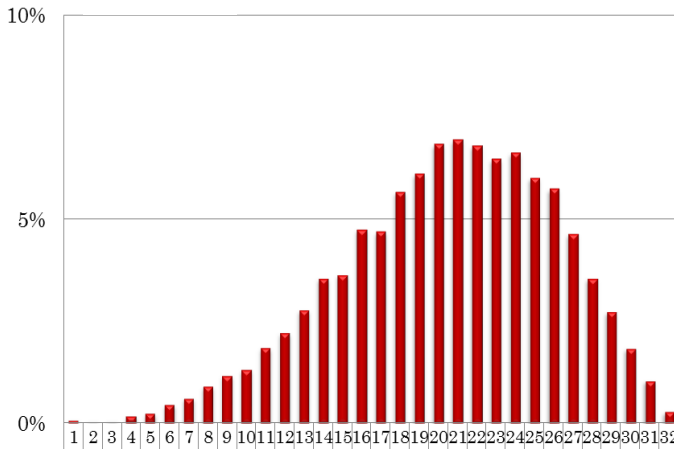
【調査実施日】 平成 29 年 4 月 18 日 (火)  
 【調査対象】 中学校及び義務教育学校後期課程第 1 学年 国語・数学・生徒質問紙調査  
 【調査人数】 国語 (10,207 人) 数学 (10,212 人) 生徒質問紙調査 (10,065 人)

## 3 教科調査結果の概要

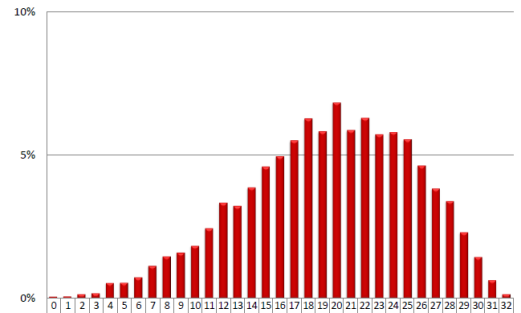
- (1) 各教科の平均正答率及び中央値
- |    |       |     |     |     |
|----|-------|-----|-----|-----|
| 国語 | 平均正答率 | 61% | 中央値 | 63% |
| 数学 | 平均正答率 | 69% | 中央値 | 73% |

注 1) 中央値：代表値の一つで、有限個のデータを小さい順に並べたとき中央に位置する値。本調査の場合、全対象者を正答率順に並べて、ちょうど真ん中に位置する値を指す。

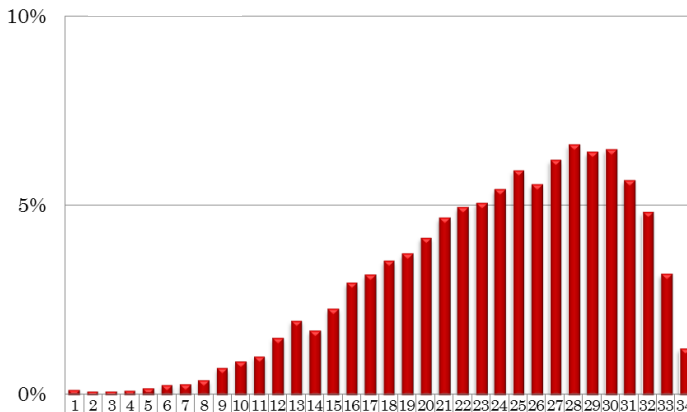
- (2) 各教科の正答数分布状況  
 ◆国語 (H29 中 1)



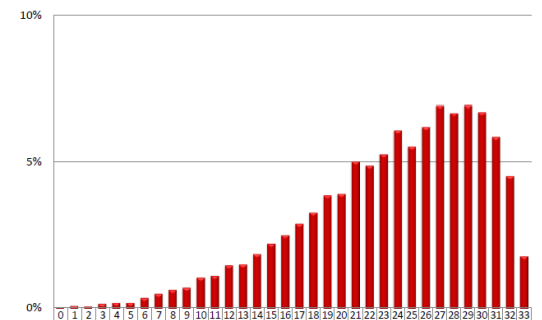
(参考 H28 中 1 国語)  
 平均正答率 61% 中央値 63%



- ◆数学 (H29 中 1)



(参考 H28 中 1 数学)  
 平均正答率 72% 中央値 76%



(3) 分布状況から見える主な特徴等

教科調査結果の特徴として、以下の3点を捉えた。

- ア 2教科とも分布の左側の層が少なく、きめ細かい指導の成果が表れている。
- イ それぞれの教科で、以下に示す問題について、改善傾向も若干見られるが、課題が継続している状況である。

教科	調査問題のねらい	H29 正答率(%) [H28 正答率]	同一集団の過去の 正答率(%) [調査名]
国語	文章の構成を捉えて読む	42[43]	56 [H27 小5 県学調]
	表やグラフから読み取ったことをまとめて書く	36[43]	47 [H27 小5 県学調]
算数 数学	比較量と割合をもとに基準量を求める	38[35]	53[H28 小6 全国学調]
	資料から根拠を明らかにし、自分なりに説明する	54[49]	67 [H27 小5 県学調]

また、昨年度と比較すると、国語では「読むこと」領域が10ポイント下降している。各学校における分析のもと、生徒の状況に合わせた、解決に向けた指導を行う必要がある。また、数学では、大きく落ち込んだ領域はないものの、「図形」領域については、昨年度から継続した課題となっている。どちらの教科についても、指導者が課題意識をもち、中学校における学習の中で、課題を克服する為の機会を保障し、その指導の成果について検証するCAPDサイクルを確立することが大切である。

- ウ 無解答率が2割程度の調査問題が国語で5問あり、そのうち4問が、読み取ったことや、それについての自分の考えを文章で書く問題となっている。無解答の原因が理解力、思考力、意欲のどこにあるのか、生徒個々の分析が大切であるが、日常の授業の中で、自分の考えを文章で書く機会を設定する等の指導の工夫が必要である。

なお、各教科の分析については、各教科の指導資料に記載する。

4 生徒質問紙調査結果の概要

県教育委員会では、平成27年12月に「いわての授業づくり3つの視点」を作成し、「学習の見通し」「学習課題を解決するための学習活動」、「学習の振り返り」のそれぞれの視点から、教師が授業を振り返ることで、授業改善を図り、児童生徒一人一人の学力を保障する取組を進めている。

本調査生徒質問紙調査結果におけるそれらの項目の中から、「見通しの機会の設定（質問事項25）」について見てみると、肯定的な回答（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計）が昨年度より6ポイント上昇し、95%と高い結果となっている。また、「振り返りの機会の設定（質問事項26）」についても、肯定的な回答が昨年度より3ポイント上昇し、87%となっている。このことから、各学校において、「いわての授業づくり3つの視点」を強く意識し、授業改善に取り組んでいることが分かる。

また、学力保障についての課題の一つである「家庭学習の取組（質問事項7）」について、肯定的な回答が昨年度より6ポイント上昇しており、引き続き課題ではあるものの、各学校における指導等により、家庭学習に計画的に取り組む児童生徒が増えている状況が見られた。

質問事項 25: 見通しの機会の設定

学年	年	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
小学5年	H27	55	31	10	4
		<b>86</b>	<b>14</b>		
中学1年	H28	57	32	8	3
		<b>89</b>	<b>11</b>		
	H29	67	28	4	1
		<b>95</b>	<b>5</b>		

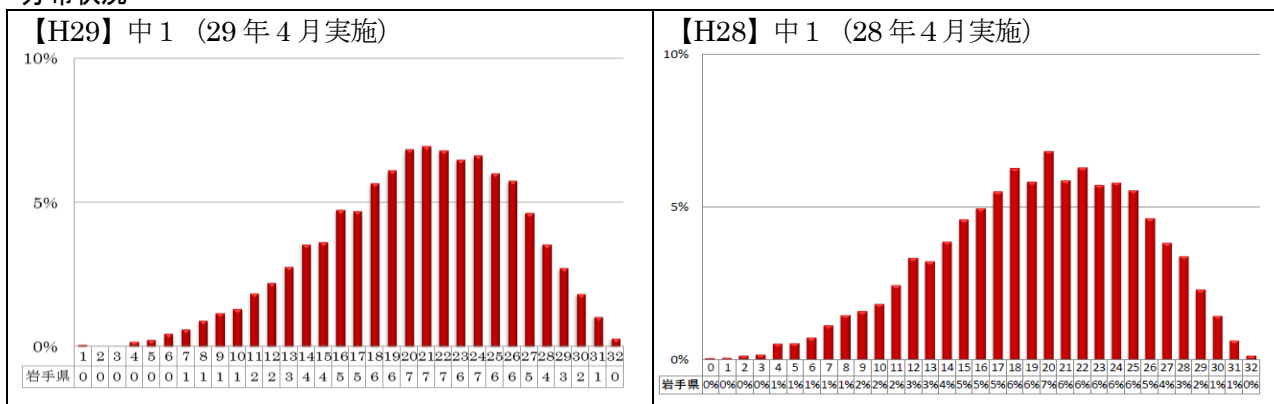
質問事項 7 : 家庭学習の取組

学年	年	している	どちらかといえ ばしている	どちらかといえ ばしていない	していない
小学5年	H27	25	38	22	15
		<b>63</b>	<b>37</b>		
中学1年	H28	27	41	19	12
		<b>68</b>	<b>31</b>		
	H29	33	41	18	8
		<b>74</b>	<b>26</b>		

# 授業改善の手引 中学校第 1 学年国語

## 1 調査結果

### (1) 分布状況



- 問題数は、昨年度と同じ 32 問、正答数の最頻値は 21 問、平均正答数は 20 問です。昨年度と比較すると、分布の山に大きな変動はありませんが、正答数 16 問以下の生徒数が 24%と、昨年度より 7 ポイント少なくなっています。

(正答数の最頻値：該当する生徒数の最も多い正答数)

### (2) 領域等の正答率

領 域 等		正答率		
		( ) は H28 新入生学調、( ) は H27 県学調		
話すこと・聞くこと	(6 問)	75%	(74%)	(69%)
書くこと	(3 問)	42%	(47%)	(56%)
読むこと	(10 問)	41%	(51%)	(66%)
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	(13 問)	74%	(65%)	(75%)
活用	(3 問)	39%	(43%)	(50%)

### (3) 結果概要

- 領域ごとの正答率において、「話すこと・聞くこと」が 75%と昨年度を 1 ポイント上回りました。特に、小問ごとの正答率において、「話し手の意図を考えながら、話の内容を聞く」問題が 88% (+5 ポイント)、「話し合いにおける司会の役割がわかる」問題が 84% (+2 ポイント) で、よい状況にあります。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の「敬語を正しく使う」問題においては正答率が 83%と昨年度を 18 ポイント、「熟語の構成を意味との関わりから理解する」問題においては正答率が 80%と昨年度を 28 ポイント、それぞれ上回り、改善傾向にあります。
- 領域ごとの正答率において、「書くこと」が 42% (-5 ポイント)、「読むこと」が 41% (-10 ポイント)、と昨年度を下回る結果となりました。特に、文学的文章 (大問 4) の正答率の低さが目立ちました。
- 活用問題 (3 問) が 39%と昨年度を 4 ポイント下回りました。また、「書くこと」領域の無解答率の割合が 25%と昨年度より 5 ポイント上回ったことから、表現様式や条件に応じた文章を書くことについて、引き続き指導の工夫が必要な状況にあります。

(4) 小問別正答率

問題番号				調査問題のねらい	学習指導要領との関連	主な観点	備考	正答率	選択 No. (人)						
大問	中問	小問	通番号						1	2	3	4	5	6	0
									選択	選択	選択	選択	誤答	正答	無答
1	(1)		1	話し手の意図を考えながら、話の内容を聞くことができる。	第5・6学年「話・聞」(1)エ	話・聞		61					35	61	3
	(2)		2	話し手の意図を考えながら、話の内容を聞くことができる。	第5・6学年「話・聞」(1)エ	話・聞		88	7	1	4	88	0		0
	(3)		3	話し合いにおける司会の役割がわかる。	第5・6学年「話・聞」(1)オ	話・聞	経年	84	84	4	5	6	0		0
2	(1)		4	目的や状況に応じて質問をすることができる。	第3・4学年「話・聞」(1)エ	話・聞		78	5	11	78	6	0		0
	(2)		5	目的や状況に応じて質問をすることができる。	第3・4学年「話・聞」(1)エ	話・聞		74	74	13	5	8	0		0
	(3)		6	目的や意図に応じて話すことができる。	第5・6学年「話・聞」(1)エ	話・聞		66	20	66	4	10	0		0
3	(1)	①	7	漢字「改革」を正しく読むことができる。	第5・6学年「伝国」(1)ウ(ア)	伝国		88					10	88	2
		②	8	漢字「訪ねる」を正しく読むことができる。	第5・6学年「伝国」(1)ウ(ア)	伝国		98					2	98	0
	(2)	①	9	漢字「否定」を正しく書くことができる。	第5・6学年「伝国」(1)ウ(ア)	伝国		68					23	68	9
		②	10	漢字「厳しい」を正しく書くことができる。	第5・6学年「伝国」(1)ウ(ア)	伝国		69					22	69	9
	(3)		11	日常使われる敬語を正しく使うことができる。	第5・6学年「伝国」(1)イ(ク)	伝国		83					16	83	1
	(4)		12	ローマ字で表記されたものを読むことができる。	第3・4学年「伝国」(1)ウ(ア)	伝国		72	9	5	72	12	1		1
	(5)	ア	13	理解するために必要な語句について、辞書を活用して調べることができる。	第3・4学年「伝国」(1)イ(カ)	伝国		47					32	47	21
		イ	14	理解するために必要な語句について、辞書を活用して調べることができる。	第3・4学年「伝国」(1)イ(カ)	伝国		77					20	77	4
	(6)		15	和語・漢語・外来語の区別について理解している。	第5・6学年「伝国」(1)イ(エ)	伝国		90					7	90	4
	(7)		16	熟語の構成を意味との関わりから理解している。	第5・6学年「伝国」(1)イ(エ)	伝国		80	2	80	4	11	2		0
(8)		17	文の構成について理解している。	第5・6学年「伝国」(1)イ(キ)	伝国	経年	65	18	65	14	2	1		0	
(9)		18	故事成語の意味や使い方を理解している。	第3・4学年「伝国」(1)ア(イ)	伝国		58	14	15	12	58	1		1	
(10)		19	文脈に沿って、漢字を適切に使うことができる。	第5・6学年「伝国」(1)ウ(ア)	伝国		63					22	63	15	
4	(1)		20	場面の移り変わりを読むことができる。	第3・4学年「読」(1)ウ	読		26					72	26	3
	(2)		21	場面の描写と登場人物の様子を読むことができる。	第5・6学年「読」(1)エ	読		34					59	34	7
	(3)		22	登場人物の相互関係を読むことができる。	第5・6学年「読」(1)エ	読		70	70	10	4	15	1		1
	(4)		23	登場人物の心情を読むことができる。	第5・6学年「読」(1)エ	読	経年活用	43	6	8	41	43	1		2
	(5)		24	登場人物の心情を読むことができる。	第5・6学年「読」(1)エ	読		20					59	20	21
5	(1)		25	文章の内容を的確に押さえて読むことができる。	第5・6学年「読」(1)ウ	読		36	11	36	34	14	3		2
	(2)		26	文章の内容を的確に押さえて読むことができる。	第5・6学年「読」(1)ウ	読		47	12	28	47	8	1		4
	(3)		27	目的に応じて、中心となる語や文を捉えて読むことができる。	第3・4学年「読」(1)イ	読		57					34	57	9
	(4)		28	文章の要旨を捉えて読むことができる。	第3・4学年「読」(1)ウ	読	経年活用	40					46	40	14
	(5)		29	文章の構成を捉えて読むことができる。	第5・6学年「読」(1)ウ	読	経年	42	14	15	42	14	1		14
6	条件①		30	段落構成を考えながら指定された長さの文章を書くことができる。	第3・4学年「書」(1)イ	書		51					26	51	24
	条件②		31	表やグラフから読み取ったことをまとめて書くことができる。	第5・6学年「書」(1)エ	書	経年活用	36					39	36	25
	条件③		32	根拠に基づいて自分の考えを書くことができる。	第5・6学年「書」(1)ウ	書	経年	41					28	41	32
全体正答率								61							

## 2 指導のポイント

- (1) 人物像や内面にある深い心情を表現の仕方と結び付けながら捉えられるよう、場面の展開や登場人物の相互関係などの描写に着目しながら読み深める学習活動を充実させましょう。

### ア 問題の概要

4 (5) 登場人物の心情を読む。 第5・6学年「読」エ 【正答率 20% 無解答率 21%】

### イ 誤答分析

誤答を分析すると、線部（引用文）近くの情景描写や暗示的な表現をそのまま解答したもの、「月より遠い」という表現から二人の距離が離れることに対する不安と捉えたものが多く見られました。また、設問文中の「これからの春子との関係をどう受け止め」から、前向きに良好な関係性を築こうとする心情を表現した解答も見られました。

この問題は、登場人物の相互関係から人物像やその役割を捉え、そのことによって内面にある深い心情を捉えることが求められるため、文章全体の中で人物相互の関係から心情を捉え、その根拠となる叙述に着目しながら読む力に課題があると考えられます。

### ウ 指導上の留意点

(ア) 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えることについては、既に小学校第5学年及び第6学年（指導事項エ）で学習しています。このことは、中学校第1学年の、時間的・空間的な場面の展開、人物の心情や行動、情景描写などに注意して読み、内容の理解に役立てる学習につながります。

(イ) 指導に当たっては、登場人物の相互関係について、中心人物と周辺人物の関わりが分かる言葉や行動に視点を定めて読んだり、語り手の視点を変えて読んだりすることで、互いの人物像の描かれ方や中心人物との関係性を捉えることが大切です。

また、情景描写による暗示的な表現を場面の展開に即して考えることができるよう、暗示されていること（「状況」「行動」「心情」）を情景描写の前後にある叙述から捉え、特に心情を表す表現の仕方に注意しながら読むことが大切です。

こうした学習は、互いの考えや根拠となる叙述の妥当性などを検討できる場を設定することで、自分の考えを補完したり深めたりできることにつながります。

- (2) 説明的な文章の特徴を踏まえて内容を把握しながら、目的や必要に応じて要約したり要旨を捉えたりする学習活動を充実させましょう。

### ア 問題の概要

5 (4) 文章の要旨を捉えて読む。 第5・6学年「読」ウ 【正答率 40% 無解答率 14%】

### イ 誤答分析

誤答を分析すると、形式段落⑤の「そうやって」より前に挙げられている具体例から一つを選んで解答する傾向が多く見られました。

ここでは、文章全体の内容や構成を的確に押さえながら、取り上げられている内容の中心や、書き手の考えの中心となる事柄を要旨として捉えることが求められるため、文章全体に書かれている話題、理由と根拠となっている内容、構成や巧みな叙述に注意するなど、文章全体から内容を的確に押さえる力に課題があることが考えられます。

### ウ 指導上の留意点

(ア) 小学校では第5学年及び第6学年の指導事項ウにかかわって、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉える学習を行っています。このことは、中学校第1学年「読むこと」の指導事項イ「文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨を捉えたりすること。」につながります。

(イ) 指導に当たっては、要旨を捉えることができるよう、提示されている話題と、その話題について説明されている事柄を踏まえて、必要な情報を選択し整理することが大切になります。その際、論の展開の中心となる部分と、それを支える例示や引用などの付加的な部分とを読み分け、内容を理



解することが重要になります。また、見出しが付けられた文章では、中心的な部分を捉えるために見出しに着目して読むことも効果的です。

また、目的や必要に応じて要約したり要旨を捉えたりできるよう、その目的や必要によって取り上げる言葉や文が変わることや、条件に合わせてまとめる必要があることを実感できる言語活動を単元の中に意図的に位置付けていきましょう。

(3) 得た情報の中から自分の考えの根拠となる事柄を捉えて根拠を明確にして書く学習を大切にしましょう。

ア 問題の概要

6	条件② 表やグラフから読み取ったことをまとめて書く。 第5・6学年「書」エ	【正答率 36% 無解答率 25%】
	条件③ 根拠に基づいて自分の考えを書く。 第5・6学年「書」ウ	【正答率 40% 無解答率 31%】

イ 誤答分析

誤答の多くは、条件②「具体的な数値を入れて書くことができていないもの」、条件③「資料から読み取ったことを踏まえていないもの」でした。また、無解答率は、昨年度をやや上回る結果となりました。

この問題では、資料から読み取った情報や自分の考えについて適切な言葉や数値を用いて記述する力や、資料から必要な情報を取り出し、比較したり関係付けたりしながら自分の考えを明確にすることが求められます。そのため、資料から取り出した情報の書き表し方の理解や、図表やグラフを用いて自分の考えを書く経験が不足していることが考えられます。

ウ 指導上の留意点

(ア) 小学校では、第5学年及び第6学年の「書くこと」の指導事項ウ・エにかかわって、事実と感想、意見などを区別して書く学習や図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書く学習を行っています。このことは、中学校第1学年「書くこと」の指導事項ウ「伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。」につながります。

(イ) 指導に当たっては、根拠を明確にして自分の考えを書くことができるよう、構成を十分検討することが必要です。構成ではどのような点に着目して整理すればよいのか、具体的にその考え方を取り上げて指導することが大切です。例えば、根拠の妥当性を検討する場の設定（用いた図表やグラフが自分の考えを明確に伝えるための根拠となっているかどうか、その内容が適切かどうかなど）です。あわせて、必要な数値（「〇%以上」等）や概略を示す言葉（「おおよそ」等）、比較を示す言葉（「上回る・下回る」等）を使用するなど、読み取った情報を相手に分かりやすく伝えるための言葉を選択させるような指導も大切にしましょう。

このように、書こうとする中心からそれないよう、自分の伝えたいことに立ち返る場の設定は、目的意識の持続という点でも有効です。そうして、第1学年では書こうとするまとめや順序を明確にし、段落の役割を踏まえた文章の構成を考えることができるようにしましょう。次頁に展開例を掲載します。

【根拠を明確にして、自分の考えを具体的に書く活動を位置付けた展開例】

教材例 ボランティア活動に関わる資料A・B（平成29年岩手県新入生学習状況調査国語6）


次	時	主な学習活動	留意点
1	①	(1)学習の見通しをもつ。 (2)A、Bの資料から読み取ったことを分類・整理する。 (3)資料から読み取ったことを踏まえてボランティア活動について考えをもつ。 (4)書く内容の中心と考えの根拠が明確になるように構成を考える。	※(2)(3)は付箋紙に書き出し、操作しながら思考できるようにする。 ※(4)展開例参照
2	②	(1)構成表を交流し、根拠の妥当性について助言し合う。 (2)助言を参考にしながら、構成を再検討する。	※(1)交流例参照
	③	(1)構成表を基にしながら、自分の考えを文章にまとめる。 (2)推敲する。	※条件(400字・3段落構成)について再確認する。
3	④	(1)文章を読み合い、感想を交流する。 【感想の観点】 ・考え(ボランティア活動について)について ・根拠の妥当性について	※単元を振り返り、付いた力や考えの深まりを自覚できるようにする。

《第1時(4)：「思考の流れ」を示すモデルを提示する》

**思考の流れを示す**

先生は、「自分たち大人が進んで多様なボランティア活動を実践することで、参加する高校生を増やしたい(考え)と考えました。なぜなら日本で参加したことのない高校生が16.7%もいるから(根拠)です。」

考えの根拠として適切でしょうか。



○構成について考えよう。  
(グラフで読み取ったこと)

日本は「その他」の活動が約十一%で、アメリカの約三分の一。

参加したことのない割合は、日本がアメリカより約四%多い。

日本は、支援や献血にアメリカの約三分の一しか参加していない。

↓

今後は、もっと多様なボランティアに積極的に参加していきたい。

(ボランティアについて考えたこと)

**書き手の意図を考える**


先生が多様な活動をしていることを姿で示し、生徒たちの関心を高めて参加する人を増やしたい、という考えですね。

**根拠の適切さを考える**

先生の考えなら、根拠は別の方がふさわしいと思うよ。なぜなら、「寄付」には50%も参加しているから。でも体験をしている人は少ないよね。

**代案を示し比較する**

例えば「支援」や「献血」の少なさを根拠にしてはどうですか？そうすれば「もっと多様な活動を」という先生の考えに説得力が増すと思うよ。



《第2時(1)：観点に沿って助言する》

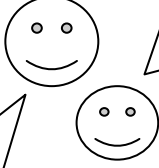
**【交流での助言例】**

**根拠の妥当性について助言し合おう。**

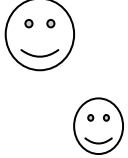
【助言の観点】

- 資料から読み取ったことと関連した考えか。(書き手の意図を理解する)
- 別の情報を根拠とするよりも説得力があるか。(代案を示して比較する)

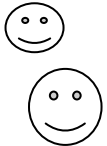
「多様なボランティアに参加したい」という考えなら「その他」の項目を根拠として取り上げたらどうかな。「その他」に含まれるボランティア活動が具体的にわかれば、より確かな根拠として示すことができるよね。



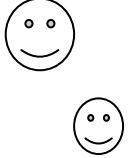
なるほど、「その他」に含まれている活動を調べて考えの根拠にすれば、もっといろいろなボランティアに興味をもって、活動に参加してくれそうだね。



「高齢者や障がい者の支援」の項目を根拠として取り上げて、日本とアメリカの差について「大きい」と書いているけれど、そこは「32.6%」と具体的な数値で示したほうが、より説得力が増すよね。



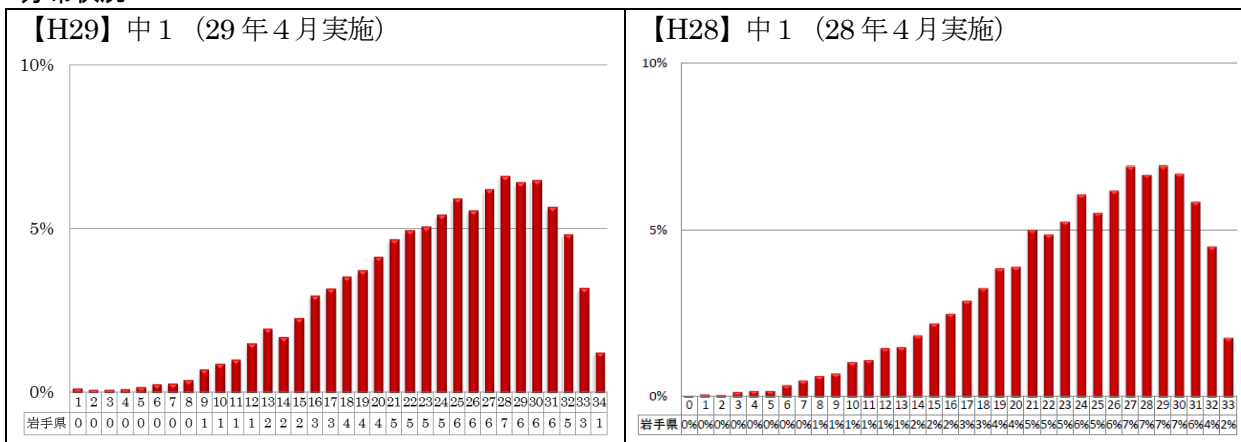
「アメリカの高校生の意識の高さを見習って、自分も友人を誘ってボランティア活動に参加したい。」と考える根拠に「お金や物の寄付」のことで取り上げているけれど、「支援」のことも付け加えるとより説得力が増すと思うよ。



# 授業改善の手引 中学校第 1 学年数学

## 1 調査結果

### (1) 分布状況



- 新入生学習状況調査の問題は、昨年度同様、小学校の授業で経験してきたものが出題されています。結果は、正答数の最頻値は 28 問、平均正答数は 23 問で、平均正答数未満の生徒は 38% います。  
(正答数の最頻値：該当する生徒数の最も多い正答数)

### (2) 領域等の正答率

領 域 等	正答率			観 点 等	正答率		
	( ) は H28 新入生学調	( ) は H28 新入生学調	< > は H27 県学調		( ) は H28 新入生学調	( ) は H28 新入生学調	< > は H27 県学調
数と計算 (10 問)	79%	(78%)	<77%>	数学的な考え方 (10 問)	58%	(61%)	<63%>
量と測定 (10 問)	63%	(62%)	<66%>	数量や図形についての技能 (17 問)	75%	(74%)	<75%>
図形 (4 問)	69%	(74%)	<84%>	数量、図形などについての知識・理解 (6 問)	73%	(78%)	<89%>
数量関係 (9 問)	66%	(71%)	<70%>	活用 (6 問)	50%	(53%)	<61%>

### (3) 結果概要

- 領域ごとの正答率を比較すると、「数と計算」の定着が図られているといえます。特に、2つの数量の関係の表し方については、85%と高い正答率になっています。
- 「活用」については、基準量と割合を基に比較量を求めること、選び方を考えて場合の数を求めることに伸びが見られます。
  - ひし形の面積を求めることに課題が見られます。
  - 比較量と割合を基に基準量を求めることに課題が見られます。
  - 「数学的な考え方」で、式を読み、図と関連させながら考察すること、根拠をもって自分の考えを説明することに課題が見られます。

### (4) 経年比較問題等の状況

問題番号	正答率	比較問題	比較	内容 (調査問題のねらい)
7 (2)	56%	H28 7	15	面積を求める式が表す図形を読み取ることができる。
12	73%	H28 7	-3	合同な四角形を選ぶことができる。
14 (1)	59%	H28 13	3	基準量と割合を基に比較量を求めることができる。

(4) 小問別正答率

問題番号				調査問題のねらい	学習指導要領との関連	主な観点	備考	正答率	選択 No. (人)						
大問	中問	小問	通番号						1	2	3	4	5	6	0
									選択	選択	選択	選択	誤答	正答	無答
1	(1)		1	整数の四則混合計算ができる。	4年 数と計算 (4)	技		97					3	97	0
	(2)		2	小数の加法の計算ができる。	4年 数と計算 (5)イ	技	経年	85					15	85	0
	(3)		3	分数の減法の計算ができる。	5年 数と計算 (4)オ	技		89					11	89	1
	(4)		4	整数÷分数の除法の計算ができる。	6年 数と計算 (1)イ	技		87					12	87	1
	(5)		5	分数と小数の混合計算ができる。	6年 数と計算 (1)イ	技	経年	75					22	75	3
2			6	最小公倍数を求めることができる。	5年 数と計算 (1)イ	技		81	11	81	2	2	3		0
3			7	あまりのある小数の除法のしかたを理解している。	5年 数と計算 (3)イ	知	経年	71	7	4	71	15	2		0
4	(1)		8	最大公約数を求めることができる。	5年 数と計算 (1)イ	技		66	9	5	66	17	3		1
	(2)		9	最大公約数について理解している。	5年 数と計算 (1)イ	知		54	13	20	12	54	0		1
5			10	2つの数量の関係の表し方を理解している。	5年 数と計算 (3)ア (4)ア	知	経年	85	85	5	6	4	0		0
6	(1)		11	ひし形の面積を求めることができる。	5年 量と測定 (1)ア	技	経年	60					37	60	3
	(2)		12	たこ形の面積を求めることができる。	5年 量と測定 (1)ア	技	経年	65	65	7	9	17	1		2
7	(1)		13	面積を求める式が表す図形を読み取ることができる。	6年 量と測定 (2)ア	考		74	7	13	74	4	1		1
	(2)		14	面積を求める式が表す図形を読み取ることができる。	6年 量と測定 (2)ア	考	経年	56	56	24	8	10	1		2
8			15	時速を求めることができる。	6年 量と測定 (4)	技		85					13	85	2
9	ア		16	単位量当たりの大きさの考えを用いて、混みぐあいを説明することができる。	5年 量と測定 (4)ア	考	経年	59	9	26	59	4	1		1
	イ		17	単位量当たりの大きさの考えを用いて、混みぐあいを説明することができる。	5年 量と測定 (4)ア	考	経年	55	8	55	27	8	1		1
10	(1)		18	体積を求める式を読み取り、立体図形に補助線を引くことができる。	5年 量と測定 (2)イ	考	経年	85					11	85	5
	(2)		19	複合図形の面積の求め方と体積の求め方を統合的に理解して、図から考えを読み取り、体積を求める式を立てることができる。	5年 量と測定 (2)イ	考	活用	69					24	69	7
	(3)		20	複合図形の体積の求め方に共通する考え方を説明することができる。	5年 量と測定 (2)イ	考	活用	26					66	26	8
11			21	図から考えを読み取り、四角形の内角の和を求める式を立てることができる。	5年 図形 (1)ウ	考	活用	53					34	53	12
12			22	合同な四角形を選ぶことができる。	5年 図形 (1)イ	技	経年	72	4	6	15	72	3		1
13	(1)		23	正三角形が線対称な図形であることを理解している。	6年 図形 (1)イ	知		74	74	4	20	1	0		1
	(2)		24	平行四辺形が点対称な図形であることを理解している。	6年 図形 (1)イ	知		77	5	77	14	4	0		1
14	(1)		25	基準量と割合を基に比較量を求めることができる。	5年 数量関係 (3)	技	経年・活用	59	9	11	59	19	0		2
	(2)		26	比較量と割合を基に基準量を求めることができる。	5年 数量関係 (3)	技	経年・活用	38	31	38	22	6	0		3
15	(1)		27	比の利用の問題を解くことができる。	6年 数量関係 (1)ア	技	経年	54	12	15	17	54	0		2
16	(1)		28	文字式で表された場面を読み取ることができる。	6年 数量関係 (3)	考		52	16	52	25	5	0		1
	(2)		29	比例の関係を捉え、yをxの式に表すことができる。	6年 数量関係 (2)ア	技		85	4	85	3	6	0		2
17	(1)		30	グラフから集団の特徴を読み取ることができる。	6年 数量関係 (4)イ	知	経年	76	6	10	4	76	0		4
	(2)		31	資料から根拠を明らかにし、自分なりに説明することができる。	6年 数量関係 (4)イ	考	経年・活用	54					40	54	6
18	(1)		32	場面を樹形図に表すことができる	6年 数量関係 (5)	技	経年	87					10	87	3
	(2)		33	選び方を考えて場合の数を求めることができる。	6年 数量関係 (5)	技	経年	85					10	85	4
全体正答率								69							

## 2 指導のポイント

### (1) 単位量当たりの大きさの考えを用いて、混み具合を比較できるかをみる問題

「比較量＝基準量×割合( $A=B\times C$ )」の関係を統合的・発展的に指導しましょう!

#### ア 問題の概要

- ㉑ たくおさんの家の近くには、AプールとBプールの2つのプールがあります。次の表は、2つのプールの面積と、入っていた人数を表したものです。

	面積 (㎡)	人数 (人)
Aプール	4 5 0	3 6
Bプール	5 2 0	4 0

たくおさんは、この表からプールのかみぐあいを調べるために、次の【見通し】を立てました。

ア、イにあてはまる正しい考えを下の①～④からそれぞれ1つずつ選んで、その番号を書きなさい。

【見通し】

ア から、1㎡あたりの人数を計算して調べる。

イ から、1人あたりのプールの面積を計算して調べる。

ア【正答率 59%】

【正答】③

イ【正答率 55%】

【正答】②

- ① 1人あたりのプールの面積が、広いほうがこんでいるといえる  
 ② 1人あたりのプールの面積が、せまいほうがこんでいるといえる  
 ③ 1㎡あたりにいる人数が、多いほうがこんでいるといえる  
 ④ 1㎡あたりにいる人数が、少ないほうがこんでいるといえる

#### イ 誤答分析

誤答については、(ア)では②の反応率が26%、(イ)では③の反応率が27%ありました。混み具合を比較する際に用いる単位量当たりの大きさと、その用い方として、どのように比べるのかについての理解が不十分なままの児童がいると考えられます。

また、H29 中学校新入生学調の㉒の正答率は85%です。

- ㉒ 新幹線のはやて号は、3時間に630km走ります。  
 このはやて号の速さは、時速何kmですか。式と答えを書きなさい。

速さについては、(速さ)=(道のり)÷(時間)の公式を用いて、単位量当たりの大きさを求めることは相当数の児童ができています。このことから、求めた単位量当たりの大きさ(速さ)をどう用いて筋道立てて比較するかのほうに課題があると考えられます。

(参考)

年度・学年	問題番号	問題の概要	正答率 (%)
H28 中学校 新入生学調	㉑ア	単位量当たりの大きさの考えを用いて、収穫量を説明することができる。	74%
H28 中学校 新入生学調	㉑イ	単位量当たりの大きさの考えを用いて、収穫量を説明することができる。	56%
H29 中学校 新入生学調	㉒	時速を求めることができる。	85%

## ウ 指導上の留意点

**基準量(単位量)の大きさを捉える場面とそれを用いて説明する場面を位置付けましょう!**

異なった2つの量の割合で捉えられる数量を比べるとき、基準量(単位量)の大きさをを用いて比べることでより能率的に比べられることを理解し、実際にそれを用いて比べられるように指導することが大切です。どうしても、(比較量) = (基準量) × (割合)の公式の理解に落ち着くことに急いでしまうことで、生徒は基準量の捉え方が浅くなってしまふことが考えられます。

学習指導に当たっては、公式の式変形によって作られる関係式(A = B × PならばB = A ÷ P、P = B ÷ A)の理解も必要ではありますが、式の中にある「基準量」や「比較量」、「割合」の大きさや意味理解を丁寧に扱うだけでなく、求めたものをどう用いて比較するかについて筋道立てて説明する活動を取り入れることが大切です。なお、全国学調では、方法の説明に関して「用いるもの」と「使い方」の両方の記述を求めています。

また、次期学習指導要領では、「速さ」の学習が6年から5年へ移行し、「混み具合」と合わせて学習することになります。今回出題した[8]、[9]などを踏まえ、「速さ」と「混み具合」の学習を統合的に考えさせることで、より深い学びの実現を図る指導が大切です。

## (2) 複合図形の体積の求め方に共通する考えを説明できるかをみる問題

**複数の考えを並べ、比較しながら「共通点や相違点を見いだす活動」を設定しましょう!**

### ア 問題の概要

10 (1) ようこさんの分け方が分かるように(図)に線をかきなさい。

<ようこさんの求め方>

(図)

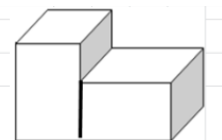
(求め方)   
 2つの直方体に分けて考えます。  
 それぞれの直方体の体積をたします。

(式)  $8 \times 4 \times 6 + 8 \times (9 - 4) \times 4$   
 $= 192 + 160$   
 $= 352$

(答え)  $352 \text{ cm}^3$

【正答率 85%】

【正答】



(2) 下の<ひろしさんの求め方>にあう式をかきなさい。

<ひろしさんの求め方>

(図)

(求め方)   
 2つの直方体に分け、一方を動かして  
 ひとつの直方体にして考えます。

(式) ?

(答え)  $352 \text{ cm}^3$

【正答率 69%】

【正答】  $8 \times (9 + 2) \times (6 - 2)$

$$= 8 \times 11 \times 4$$

$$= 352$$

※「 $8 \times 11 \times 4$ 」のみでも可

※縦、横、高さの順序が違って可

(3) ようこさんとひろしさんの求め方で、共通している考えはどんなことですか。次の説明の続きをことばを使って書きなさい。

どちらの求め方も、2つの直方体に分けたりうごかしたりして・・・

【正答率 26%】

【正答】(例) 直方体に形を変えて、体積の公式をつかって求めている。

※ 既習の直方体の体積の求め方を活用していることが、記述されていれば可

## イ 誤答分析

誤答については、設問(2)の中には、2つの直方体に分けて求積したり、移動させた後の辺の長さが読み取れない生徒がいることが考えられます。変形した後の立体を具体的にイメージできないこと、図から式に表すことが十分に出来ていないこと等が原因と考えられます。また、設問(3)を見ると、「足して計算した」等の「計算方法」の共通点の説明が多いことが分かります。計算結果を求めるためのものという浅い捉えにとどまっていることが原因と考えられます。

(参考)

年度・学年	問題番号	問題の概要	正答率 (%)
H28 中学校 新入生学調	8(2)	複合図形の体積の求め方を考え、説明することができる。	61%

## ウ 指導上の留意点

式を基にして言葉や図と関連付けて説明させながら、式の表す意味に着目させる場を意図的に設定しましょう。

式は事柄やその関係などを正確に分かりやすく表現したり、理解したりする際に重要な働きをするものです。しかし、計算結果を求めるための浅い捉えにとどまる生徒も少なくありません。

本設問の誤答のように「計算方法」の共通点の説明にとどまっている生徒については、肯定的に受け止めつつ、なぜそういう式になるのかという求め方まで入り込んだ授業展開が大切です。

学習指導に当たっては、複数の解決方法を提示しながら、帰納的な考え方を働かせることを促し、式を基にして言葉や図と関連付けながら、それらに共通するきまりや方法を考えたり、見出す活動を繰り返し経験させましょう。教師の発問により「計算式」だけでなく「求め方」についての視点まで入り込むことで理解を深めていきたいところです。そして、生徒から引き出した内容や考えをつないで全体共有をしていくまとめ方が大切です。

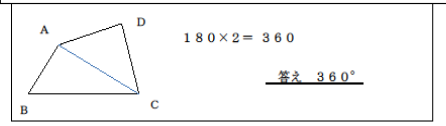
## (3) 図から考えを読み取り、四角形の内角の和を求める立式ができるかをみる問題

図形の辺や点を動かす様子を観察させるとともに、辺や点を動かした後の図形について、動かす前の図形と比較させましょう！

### ア 問題の概要

**11** ひできさん、まさひこさん、ひろしさんは、四角形の4つの角の大きさの和を次のような考えで求めました。

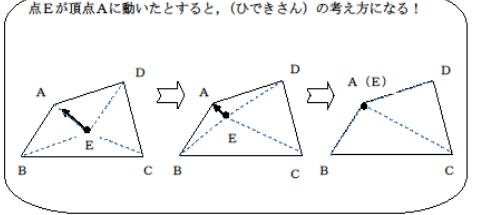
(ひできさん) 四角形に対角線を1本ひいて2つの三角形に分けて考えました。



180 × 2 = 360  
答え 360°

さらに、ひろしさんは、次のことに気がきました。

点Eが頂点Aに動いたとすると、(ひできさん)の考え方になる！



そして、このことを生かして、次のように考えました。

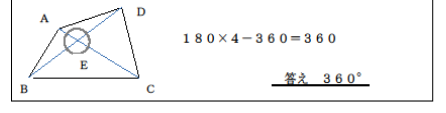
点Eを辺の上に動かすと、どうなるのかな。

ひろしさんは、まさひこさんの考えをみて、次のことに気がきました。

四角形が、2本の対角線の交った点Eから4つの頂点に引いた直線で、4つの三角形に分けられている！  
点Eを動かしてみると・・・

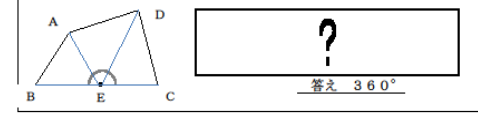
そして、このことを生かして、次のように考えました。

(まさひこさん) 四角形に対角線を2本ひいて4つの三角形に分けて考えました。



180 × 4 - 360 = 360  
答え 360°

(ひろしさん②) 四角形の1つの辺の上に点Eをとって考えました。



答え 360°

<正答> 180 × 3 - 180 (=360)  
または 180 × 3 = 540 540 - 180 (=360)  
【正答率】53% 【誤答率】34% 【無解答率】12%

## イ 誤答分析

誤答は34%でした。平成27・28年度の結果と比較すると、誤答の割合はあまり変わらないものの、無解答率が5ポイント増えています。これは、「1点を動かす」という操作のイメージがもてないこと、そして、「複数の求め方」に共通する見方や考え方に着目して学習を振り返る経験が少ないことが原因として考えられます。

(参考)

年度・学年	問題番号	問題の概要	正答率 (%)	誤答率 (%)	無解答率 (%)
H27 新入生 学調 数学	10	図から考えを読み取り、四角形の内角の和を求める式を立てることができる。	62	31	8
H28 新入生 学調 数学	10	図から考えを読み取り、四角形の内角の和を求める式を立てることができる。	60	33	7

## ウ 指導上の留意点

**1点を動かす様子を観察させるとともに、図形の見え方や形が変わっても、図形の性質が同じように活用できることを統合的・発展的に理解を深める場を設定しましょう！**

この問題では、2本の対角線とその交点を「内部の1点」と4つの頂点を結んだ線分として捉え直し、「内部の1点」を「頂点」に動かした場合には、三角形が2つになることを捉えて立式すること、また、「内部の1点」を「边上」に動かした場合には、三角形が3つになることを捉えて立式することなどについて、一連の場面として関連付けて取扱うことが大切です。

学習指導に当たっては、このような実態を踏まえて、本設問のように「内部の1点を動かす」ことを動的に示し、その様子を生徒に観察させたいところです。そして、図形の見え方や形が変わっても、図形の性質が同じように活用できることを統合的・発展的に理解できるようにすることが大切です。そのためにも、ICTを活用した授業も効果的です。さらに、式で表すことは考え方を簡潔、明瞭に説明することであり、算数・数学では大切な言語活動になります。だからこそ、式から考え方を読み取る活動と双方向に視点をおいた場面を取り入れていくことが大切です。

本設問に関連する内容は、2年生の「平行と合同」で学習します。多角形の角の和について、公式を導くに当たっては、本設問のように1点を動かす様子を観察させるとともに、小学校での学習と関連付けて、三角形の内角の和に帰着して考えるよさを実感できるよう指導していきたいところです。



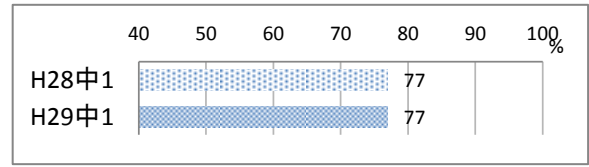
○ 生徒質問紙調査項目結果一覧

※ H29中学1年には、義務教育学校後期課程1年を含みます。

質問事項1: 学校での勉強が好きですか。

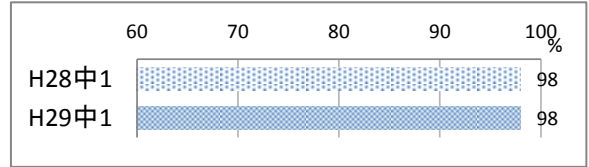
学年	年	好きだ	どちらかといえば好きだ	どちらかといえば好きではない	好きではない
中学1年	H28	29	48	18	5
		77		23	
H29		30	47	18	5
		77		23	

小学5年データ: 10月県学調  
中学1年データ: 4月新入生学調



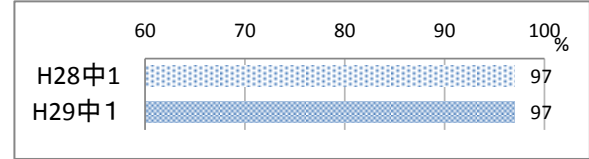
質問事項2: 勉強は大切だと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
中学1年	H28	83	15	1	0
		98		1	
H29		82	16	1	0
		98		1	



質問事項3: 学校の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

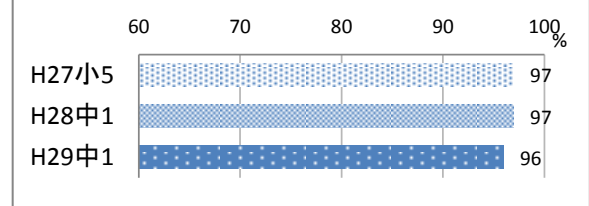
学年	年	役立つと思う	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	役に立つと思わない
中学1年	H28	77	20	2	0
		97		2	
H29		76	21	2	0
		97		2	



質問事項4: 学校に行く前に朝食をとりますか。

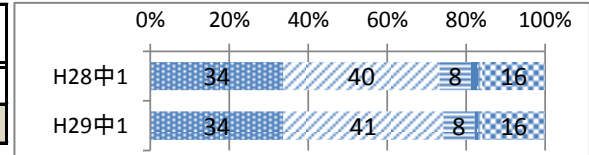
学年	年	必ずとる	とることが多い	とらないことが多い	ほとんどとらない
小学5年	H27	89	8	3	0
		97		3	
中学1年	H28	87	10	2	1
		97		3	
H29		87	9	2	1
		96		3	

H27の小学5年とH29の中学1年は同一集団です。



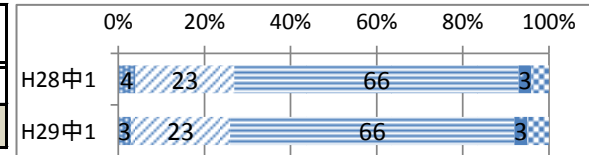
質問事項5: 学校のある日の前日は、いつも、何時ごろに寝ますか。

学年	年	午後10時前に寝る	午後10時～午後11時前に寝る	午後11時～午前0時前に寝る	午前0時～午前1時前に寝る	午前1時以降に寝る	日によって違う
中学1年	H28	33	40	8	2	1	16
	H29	34	41	8	1	1	16



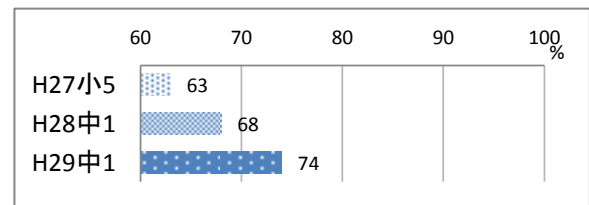
質問事項6: 学校のある日は、いつも、何時ごろに起きますか。

学年	年	午前5時前に起きます	午前5時～午前6時前に起きます	午前6時～午前7時前に起きます	午前7時～午前8時前に起きます	午前8時以降に起きます	日によって違う
中学1年	H28	4	23	66	3	0	4
	H29	3	23	66	3	0	5



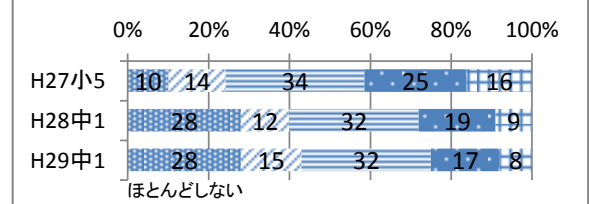
質問事項7: 家で、自分で計画を立てて勉強していますか。

学年	年	している	どちらかといえばしている	どちらかといえばしていない	していない
小学5年	H27	25	38	22	15
		63		37	
中学1年	H28	27	41	19	12
		68		31	
H29		33	41	18	8
		74		26	



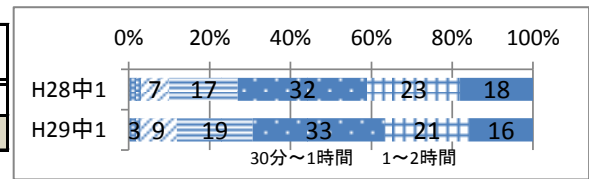
質問事項8: 学校の授業以外で1日にどのくらい読書を読みますか。

学年	年	ほとんどしない	10分より少ない	10分以上30分より少ない	30分以上1時間より少ない	1時間以上
小学5年	H27	10	14	34	25	16
中学1年	H28	28	12	32	19	9
	H29	28	15	32	17	8



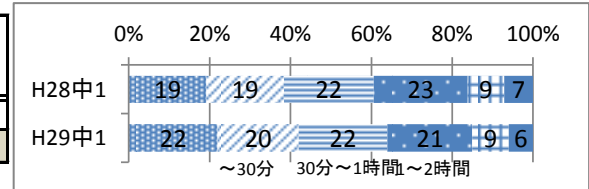
質問事項9: 1日にどのくらいテレビやビデオ、DVDをみますか。

学年	年	全く見ない	30分より少ない	30分以上 1時間より少ない	1時間以上 2時間より少ない	2時間以上 3時間より少ない	3時間以上
中学1年	H28	3	7	17	32	23	18
	H29	3	9	19	33	21	16



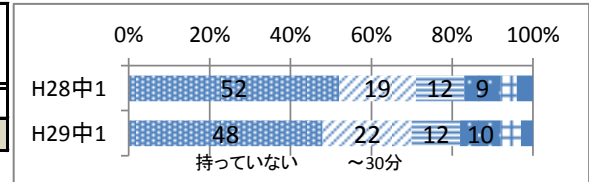
質問事項10: 1日にどのくらいテレビゲームをしますか。

学年	年	全くしない	30分より少ない	30分以上 1時間より少ない	1時間以上 2時間より少ない	2時間以上 3時間より少ない	3時間以上
中学1年	H28	19	19	22	23	9	7
	H29	22	20	22	21	9	6



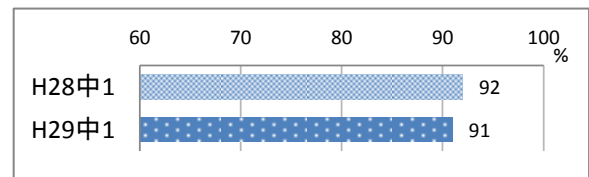
質問事項11: 1日にどのくらい携帯電話やスマートフォンで電話やメール、インターネットをしますか。

学年	年	携帯電話・スマートフォンを持っていない	30分より少ない	30分以上 1時間より少ない	1時間以上 2時間より少ない	2時間以上 3時間より少ない	3時間以上
中学1年	H28	52	19	12	9	4	4
	H29	48	22	12	10	5	3



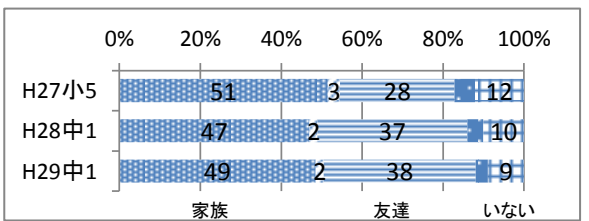
質問事項12: 学校に行くのは楽しいと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H28	59	33	5	3
	H29	59	32	6	2
		<b>92</b>		<b>8</b>	
		<b>91</b>		<b>8</b>	



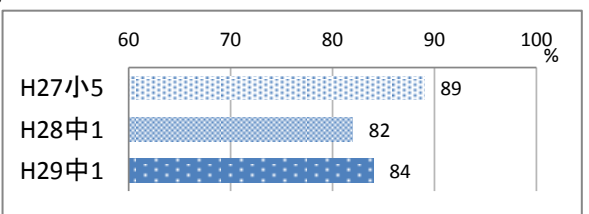
質問事項13: 自分が悩んでいることがあった時、誰に相談することが多いですか。

学年	年	家族	学校の先生	友達	その他	相談する人はいない
小学5年	H27	51	3	28	5	12
中学1年	H28	47	2	37	4	10
	H29	49	2	38	3	9



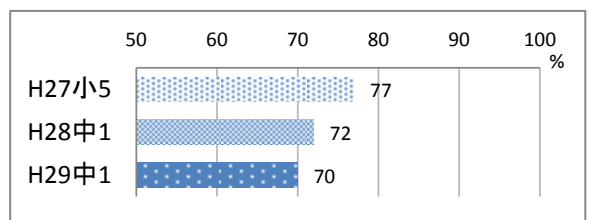
質問事項14: あなたは、将来の夢や就きたい仕事など具体的な目標をもっていますか。

学年	年	もっている	どちらかといえば もっている	どちらかといえば もっていない	もっていない
小学5年	H27	70	19	7	4
		<b>89</b>		<b>11</b>	
中学1年	H28	57	25	9	8
	H29	57	27	9	6
		<b>84</b>		<b>15</b>	



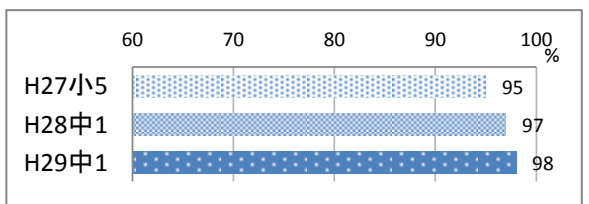
質問事項15: 自分にはよいところがあると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	H27	32	45	16	8
		<b>77</b>		<b>24</b>	
中学1年	H28	26	46	18	10
	H29	26	44	19	10
		<b>70</b>		<b>29</b>	



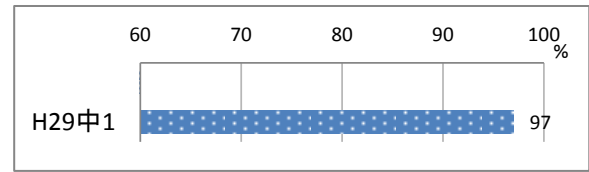
質問事項16: 人が困っているときは、進んで助けようと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	H27	60	35	4	0
		<b>95</b>		<b>4</b>	
中学1年	H28	61	36	3	1
	H29	65	33	2	1
		<b>98</b>		<b>3</b>	



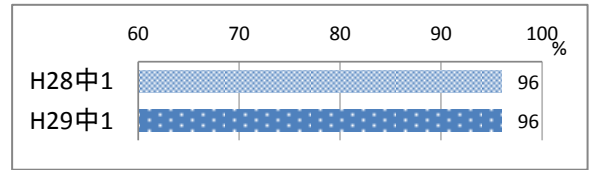
質問事項17:人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。(新)

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H29	80	17	2	1
		<b>97</b>	<b>3</b>		



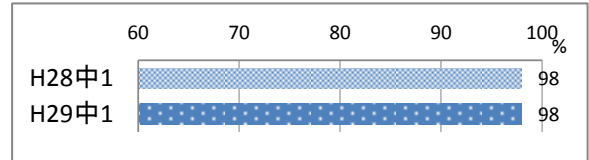
質問事項18:ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。

学年	年	ある	どちらかといえば ある	どちらかといえば ない	ない
中学1年	H28	78	18	3	2
			96	5	
H29	H29	79	17	2	1
			<b>96</b>	<b>3</b>	



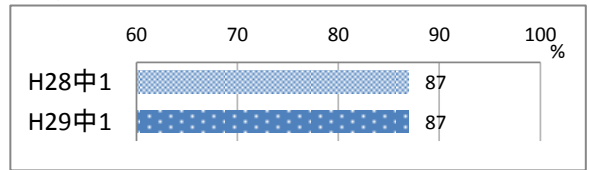
質問事項19:学校のきまりを守っていますか。

学年	年	守っている	どちらかといえば 守っている	どちらかといえば 守っていない	守っていない
中学1年	H28	72	26	1	0
			98	1	
H29	H29	72	26	1	0
			<b>98</b>	<b>1</b>	



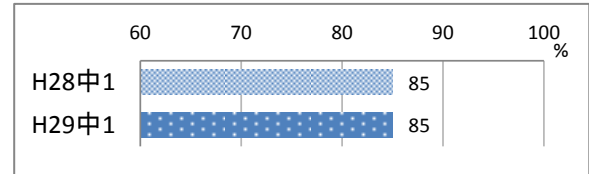
質問事項20:新聞を読んだり、テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか。

学年	年	そうしている	どちらかといえば そうしている	どちらかといえば そうしていない	そうしていない
中学1年	H28	49	38	9	4
			87	13	
H29	H29	49	38	9	4
			<b>87</b>	<b>13</b>	



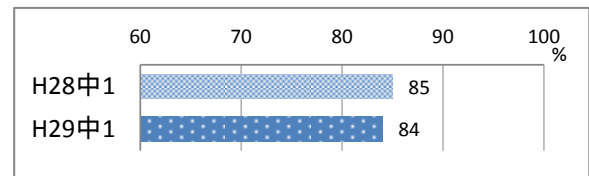
質問事項21:家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか。

学年	年	話をする	どちらかといえば 話をする	どちらかといえば 話をしない	話をしない
中学1年	H28	53	32	10	5
			85	15	
H29	H29	54	31	10	6
			<b>85</b>	<b>16</b>	



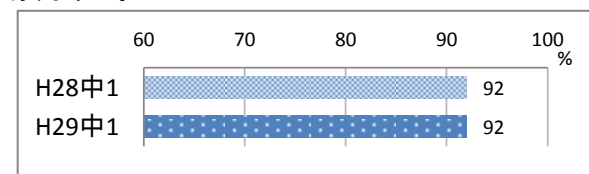
質問事項22:小学校のとき、学校に行くのは楽しかったと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H28	57	28	9	6
			85	15	
H29	H29	57	27	10	6
			<b>84</b>	<b>16</b>	



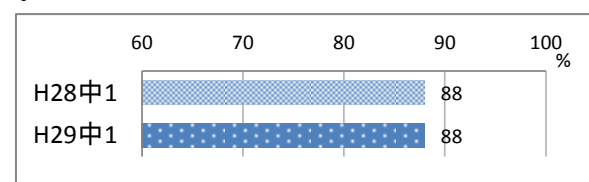
質問事項23:小学校のとき、学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがありますか。

学年	年	ある	どちらかとい えばある	どちらかとい えばない	ない
中学1年	H28	68	24	5	3
			92	8	
H29	H29	69	23	5	3
			<b>92</b>	<b>8</b>	



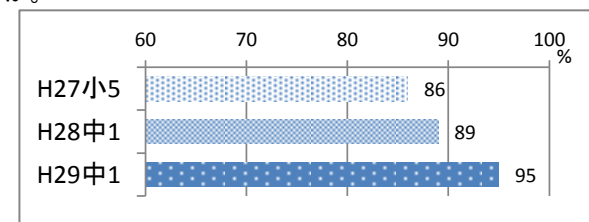
質問事項24:小学校のとき、先生はあなたのよいところを認めてくれていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わない	そう思わない
中学1年	H28	54	34	7	4
			88	11	
H29	H29	55	33	7	4
			<b>88</b>	<b>11</b>	



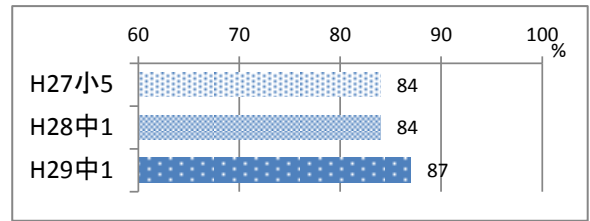
質問事項25:小学校の授業で、授業の目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わない	そう思わない
小学5年	H27	55	31	10	4
		<b>86</b>	<b>14</b>		
中学1年	H28	57	32	8	3
			89	11	
H29	H29	67	28	4	1
			<b>95</b>	<b>5</b>	



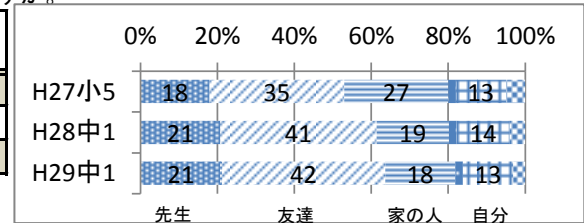
質問事項26: 小学校の授業で、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	H27	49	35	11	4
		84		15	
中学1年	H28	46	38	12	4
		84		16	
	H29	46	41	11	3
		87		14	



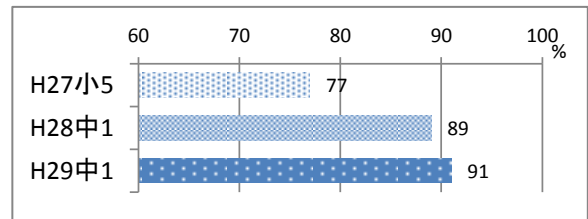
質問事項27: 小学校のとき、授業で分からないことがあると、どうすることが多かったですか。

学年	年	先生にたずねる	友達にたずねる	家の人に たずねる	塾や家庭教師 の先生に たずねる	自分で調べる	そのままにする
小学5年	H27	18	35	27	2	13	5
中学1年	H28	21	41	19	2	14	4
	H29	21	42	18	2	13	3



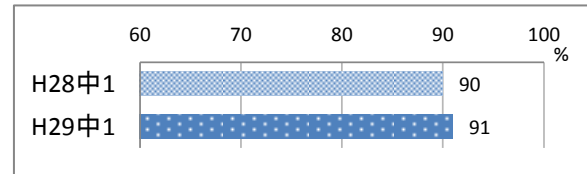
質問事項28: 小学校のときの「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいましたか。

学年	年	取り組んでいた	どちらかといえば 取り組んでいた	どちらかといえば 取り組んでいない	取り組んでいない
小学5年	H27	33	44	17	6
		77		23	
中学1年	H28	49	40	8	2
		89		10	
	H29	50	41	7	1
		91		8	



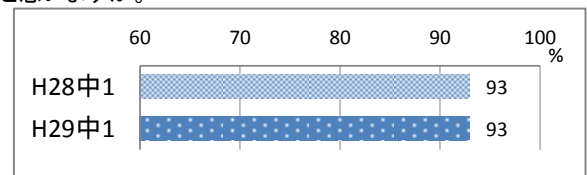
質問事項29: 小学校のときの授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H28	50	40	8	2
		90		10	
	H29	52	39	8	2
		91		10	



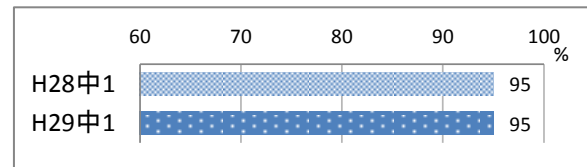
質問事項30: 小学校のときの授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H28	62	31	6	2
		93		8	
	H29	65	28	5	2
		93		7	



質問事項31: 小学校のときの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。

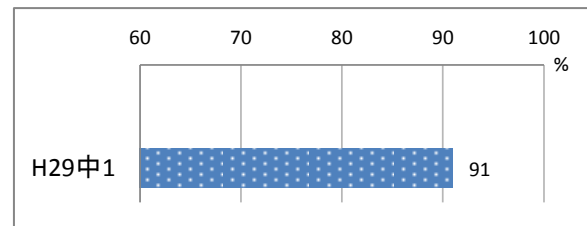
学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H28	67	28	4	1
		95		5	
	H29	69	26	4	1
		95		5	



質問事項32: 小学校のときの授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

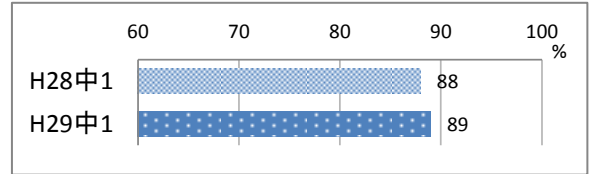
**新**

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H29	43	48	8	2
		91		10	



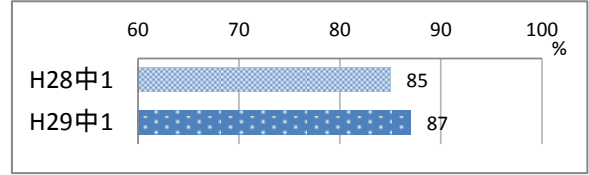
質問事項33: 小学校の国語の授業で、自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H28	41	47	9	3
		88		12	
	H29	43	46	9	2
		89		11	



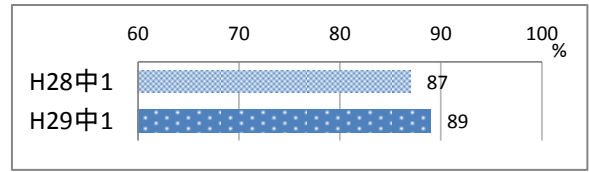
質問事項34: 小学校の国語の授業で、文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H28	38	47	12	3
		85		15	
	H29	41	46	11	3
		87		14	



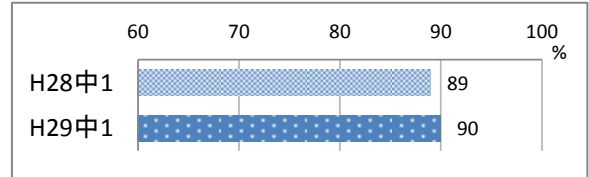
質問事項35: 小学校の算数の問題の解き方が分からないとき、あきらめずにいろいろな方法を考えていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H28	49	38	10	3
		87		13	
	H29	53	36	9	2
		89		11	



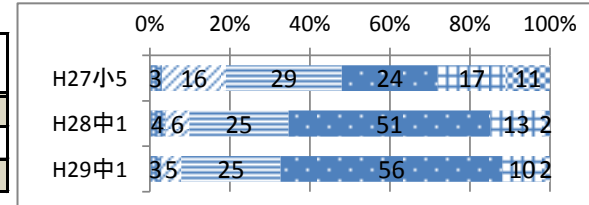
質問事項36: 小学校の算数の授業で、公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H28	53	36	8	2
		89		10	
	H29	56	34	7	2
		90		9	



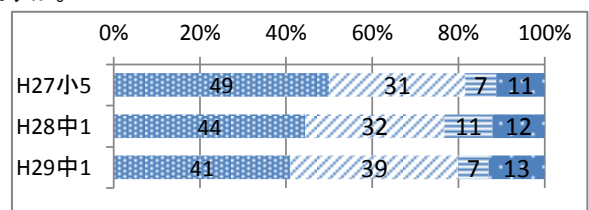
質問事項37: 小学校のとき、学校の授業以外で、1日にどのくらい勉強していましたか。

学年	年	ほとんどしない	30分より少ない	30分以上、 1時間より少ない	1時間以上、 2時間より少ない	2時間以上、 3時間より少ない	3時間以上
小学5年	H27	3	16	29	24	17	11
中学1年	H28	4	6	25	51	13	2
	H29	3	5	25	56	10	2



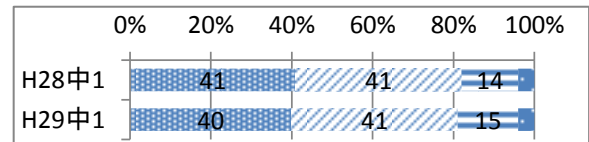
質問事項38: 小学校のとき、家庭で勉強する内容は、次のどれに近いことが多かったですか。

学年	年	宿題だけする	宿題のほかに 復習をする	宿題のほかに 予習をする	宿題のほかに 予習と復習をする
小学5年	H27	49	31	7	11
中学1年	H28	44	32	11	12
	H29	41	39	7	13



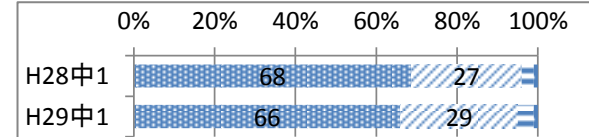
質問事項39: 中学校の国語の授業を楽しみにしていますか。

学年	年	楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみではない	楽しみではない
中学1年	H28	41	41	14	4
	H29	40	41	15	4



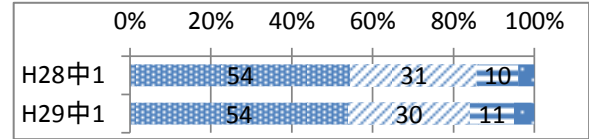
質問事項40: 小学校の国語で学習したことを、中学校の学習でもいかしていけると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H28	68	27	3	1
	H29	66	29	4	1



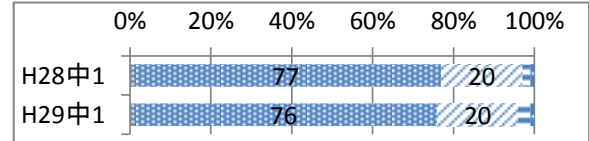
質問事項41: 中学校の数学の授業を楽しみにしていますか。

学年	年	楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみではない	楽しみではない
中学1年	H28	54	31	10	4
	H29	54	30	11	5



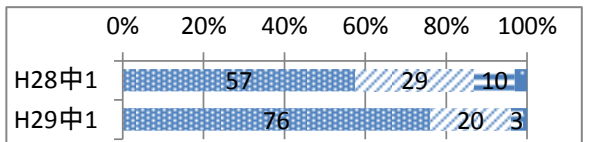
質問事項42: 小学校の算数で学習したことを、中学校の学習でもいかしていけると  
思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H28	77	20	2	1
	H29	76	20	3	1



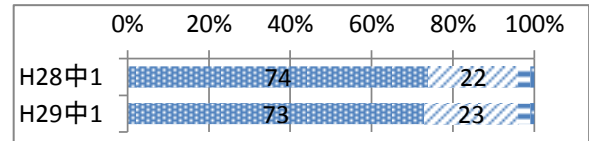
質問事項43: 中学校の社会の授業を楽しみにしていますか。

学年	年	楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみではない	楽しみではない
中学1年	H28	57	29	10	3
	H29	76	20	3	1



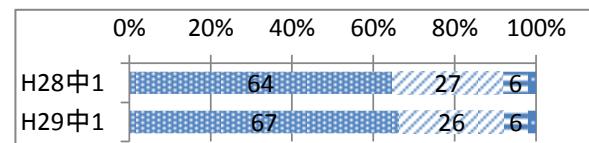
質問事項44: 小学校の社会で学習したことを、中学校の学習でもいかしていけると  
思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H28	74	22	3	1
	H29	73	23	3	1



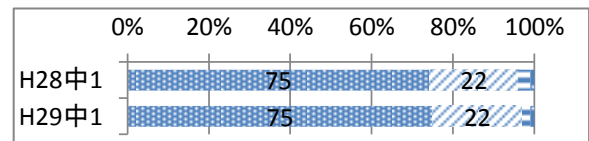
質問事項45: 中学校の理科の授業を楽しみにしていますか。

学年	年	楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみではない	楽しみではない
中学1年	H28	64	27	6	2
	H29	67	26	6	2



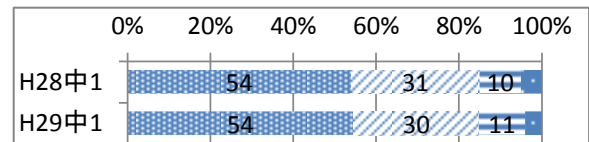
質問事項46: 小学校の理科で学習したことを、中学校の学習でもいかしていけると  
思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H28	75	22	3	1
	H29	75	22	2	1



質問事項47: 中学校の英語の授業を楽しみにしていますか。

学年	年	楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみではない	楽しみではない
中学1年	H28	54	31	10	5
	H29	54	30	11	4



質問事項48: 小学校の外国語活動で学習したことを、中学校の学習でも  
いかしていけると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H28	69	24	5	2
	H29	69	25	4	2

